

東京大学総長選考・監察会議議長所信表明  
－議長就任にあたって－

本年4月1日の第1回総長選考・監察会議において議長に選出され、この1年間、議長の重責を担うこととなりました。

今年度の総長選考・監察会議は、令和9年4月に就任する次期総長を選考するという重大かつ責任ある任務を全うすることが最大の責務であることは言うまでもありません。

総長選考・監察会議は、令和2年に実施された総長選考におけるプロセスについて公平性・透明性に関わる疑義が出されて以来、毎年議論を重ねてきており、総長選考・監察会議の構成員の選出方法や運営についての見直しを経て、昨年度、総長選考プロセスの改革を具体化・実現する運びとなりました。

この見直し・改革は、選考プロセスにおける情報提供および説明責任を強化することで透明性の高い総長選考を実施すること、また、総長選考・監察会議がより主体的に選考を行うことを可能とする事項を中心に行われました。そして、東京大学が置かれている環境の変化、組織のリーダーに求められている人材のあり方の変化等を踏まえ、「求められる総長像」の改訂を行い、求められる総長像の具体化に係る重点ポイント及び評価項目も明らかにしました。

見直し・改革にあたっては、「次期総長選考に向けた課題に関するアンケート」や検討段階でのパブリックコメントの実施、運営方針会議や経営協議会等の各会議体からの御意見等々を踏まえつつ、総長選考・監察会議として丁寧な議論を行ない、学内外からの高い信頼性を得るものを目指しました。

今後、総長選考・監察会議は、見直された選考プロセスに沿い、改訂された「求められる総長像」を体現する次期総長予定者を決定するよう最大限尽力してまいります。加えて、今年度は総長の選考に関わる議事を行うため、より一層、会議運営における透明性・公平性が求められます。そのためにも議長として中立・公正な議事運営を行うことを第一義的な務めといたしたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

2026（令和8）年4月22日

東京大学総長選考・監察会議議長 国谷 裕子